

**H3ロケット7号機による
新型宇宙ステーション補給機(HTV-X)の打上げについて
〔内閣府特命担当大臣(宇宙政策)談話〕**

本日、H3ロケット7号機により、新型宇宙ステーション補給機(HTV-X)が打ち上げられました。

H3ロケットは、我が国の宇宙活動の自立性確保と国際競争力強化のために極めて重要な基幹ロケットです。今回、固体ロケットブースター(SRB-3)を4本適用した24形態での初めての打上げに成功したことで、これまでSRB-3を2本適用した22形態のみであったH3ロケットのラインナップに、24形態が追加されました。御関係の皆様の御尽力に敬意を表し、感謝申し上げます。

今回の打上げ成功により、民間企業を含めた国内外の打上げ需要を取り込んだH3ロケットの活用が更に促進され、我が国の宇宙産業の一層の発展につながることを期待しております。

また、新型宇宙ステーション補給機(HTV-X)は、宇宙ステーション補給機「こうのとり」(HTV)の後継機として輸送能力が約1.5倍に増強され、国際宇宙ステーション(ISS)の運用の根幹を支える物品等の輸送を担います。今後、新型宇宙ステーション補給機(HTV-X)が無事国際宇宙ステーション(ISS)にドッキングし、搭載された物品等を届けるとともに、その後、技術実証のためのプラットフォームとしても活用されることで、新たな技術の開発や社会への応用を支えることを期待しております。

内閣府特命担当大臣(宇宙政策)として、我が国の宇宙開発利用を精力的に進めてまいります。

令和7年10月26日
内閣府特命担当大臣(宇宙政策)
小 野 田 紀 美